

龍谷高校の生徒に皆さんへ

龍谷高等学校 校長 吉松幸宏

5月11日(月)、佐賀県高体連臨時常任理事会で、県高校総体夏季大会の中止が決定されました。全国の状況も中止の決定を出している都道府県がほとんどです。佐賀県の高校総体中止に至った理由は、以下のとおりです。

- ① 競技中だけでなく移動などでの感染リスクが大きく、選手や役員等の安全を確保するのが困難であること。大会に関わる多くの選手、役員が県内を移動するため二次感染の心配も懸念されます。
- ② 臨時休校で十分な練習時間を確保できていない状況では、怪我や熱中症など事故の発生が危惧されます。また、大会では全力を出し切りますので、いつも以上の力が出て、大きな事故につながる危険性もある。
- ③ 県教育委員会から5月末まで県内大会自粛の要請が出ています。この先当面の間、感染の完全な終息が見通せない状況であり、また学校では授業の確保や1学期末考査など3年生の進路指導に関係する大切な行事があるため延期は難しい状況です。

ほとんどの生徒は、この中止の決定を聞いて、納得できず、大きな悲しみや悔しさ辛さを感じていることだろうと思います。ただ中止の決断は、生徒の皆さん自身やかけがえのない家族や友達の健康や命を守るためです。そのことを理解してください。

私達教師は、折に触れ生徒へ「夢を持って」「夢は何ですか」「目標はありますか」と言ってきました。生徒へ意欲を持たせるため、志を高く、より上を目指し1番になるため、優勝するためです。辛く苦しい事にも耐え、厳しい練習にも耐え、遊ぶ時間を削って夢実現のため、沢山の時間を費やして頑張ってきた。苦しい事や辛いことを乗り越えることが出来る自分を作ってきた。私達教師は、夢に向かって、目標に向かって頑張る姿を見て、元気をもたらしてきた。

この中止の決定を聞いて、生徒に大切な夢、目標を失わせた現実には、やり場のない状況の生徒にどう話をすればいいのか、どのように声を掛ければいいのか、なかなか答えが出せません。先生方も苦悩されていると思います。

言えることの一つとして、目の前の目標はなくなったけれど、これまで積み上げてきた努力、競技力、技術、体力、忍耐力、チームワークや思いやり、そして感謝の心は確実に身に付いて蓄積されています。きっと将来、役に立つと信じています。これまでチーム仲間で味わった苦しみ、喜び、悔しさはこれまでの自分を成長させてくれたはずで、負けない気持ち、投げ出さない心、チームの絆も出来たはずで、この高校総合体育大会の中止の困難に負けない生徒であって欲しいと念じています。気持ちの切り替えには時間がかかります。私もそのことはよく分かっています。次の目標に気持ちを切り替える糸口を掴んで欲しいです。私達は君たちを応援しています。